

# ドラッグストアでナンパした主婦と 自宅でセックス その後知り合いに なった男女グループで乱交の日々

比較的天気がよくて涼しい午後、用事で出ていた俺は帰りにミネラルウォーターでも買おうとドラッグストアに立ち寄った。

何か買う用事があればよく来ている店である。

いつもと変わらぬ雰囲気。客もまばらにいて主婦が多い。平穩な街の平日の午後である。

俺は今年で21歳になる専門学校生だ。

コンピュータを専攻していて、将来は特技の理数系を生かしてシステムエンジニアかプログラマになりたいと思っている。

だけど少し内気で趣味はエッチなゲーム。

それでも最近は本物の女の人としたくてしたくてたまらな

い日々が続いている。

用事はボランティアとしてやっている地域活性化集会。

そこではヤリチンヤリマンっぽい学生たちが集っていて、ボランティアなんて形だけやっているだけで結局はセフレ探しのようなものに化している。

ミニスカートを穿いて化粧の濃い学生の女の子たちの目つきは、とにかくやれる！！・・・気持ちいいセックスが出来る男探し、いやチンポ探した。

「・・・やれるの??」

そんな目線。黒く輝く目の瞳孔の奥はエッチなことで真っ赤っかに染まってしまっているのだ。

そんな周囲を見て俺だってボランティアどころではなくなっていた。

四六時中もぞもぞする股間。

ドラッグストアの一番奥の並び。

冷蔵の棚にはずらっとたくさんのペットボトルが並んでいる。

すると、指を唇にやりどうしようか・・・・といった感じで  
考えている主婦風の女性がいた。

左ひじには赤い買い物カゴがぶら下がっている。

しばらく気付かれないように彼女を意識していると・・・・。

子供が走り寄ってきた。

「ママッ！！これも買ってよっ！！！」

元気に小走りでママの足の部分にやってきてすがりつくよ

うに甘える男の子。

まだかなり幼い。言葉もまだ拙い。

「ダーメッ！！おやつは家にあるでしょっ！！」

そう言いながらも・・・・。

どこか上の空とまではいかないが何か考えている風の彼女。

綺麗なお母さんだけどまだすごく若い。

今夜旦那とどんなセックスしようかしら・・・・そんな風に  
考えているのかな。

淫靡な気持ちが渦巻く。

実際はどんな夕飯にしようかしら・・・・だったら恥ずかしい  
限りなのだけど。

だけどすごく火照っているようで、あながち前者の予測は  
間違いではないのかもしれない。

いつの間にか彼女のすぐ隣まで来ていた俺の方をチラッと見た。

意識しているようだ。

こちらはもう随分前から意識している。

すると彼女は子供に言った。

「ユウ君、出口でキャンディー配っているお兄さんがいたよ。  
長い帽子被ってるお兄さん」

不思議そうにママを見る息子さん。

「あのお兄さんのところに行っておいで。お菓子もらってく  
ればいいわ。欲しいんでしょ？」

そして、

「ママとはぐれちゃだめよ。ママはこの辺にいるからね」

なんでも揃っているドラッグストアとは言え、それほど広い店内でもない。走り回れるくらいの年齢の子ならはぐれる心配はなさそうだ。

季節は12月でもうすぐクリスマス。サンタさんのような恰好をしたアルバイトのお兄さんが、帽子を被ってキャンペーンイベントのようなものを店の入り口でしてキャンディを配っていたのをしていたのを思い出した。

子供は店の入口の方へと走っていった。

ママは子供がいなくなると即座に俺の方を見る。

「…………ごめんなさいね。うちの子うるさくて……………」

そして唇をほんのわずかだけ尖らせて言った。

「買い物の邪魔しちゃったかしら？」

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)